

令和7年5月吉日

会員各位

公益社団法人 土木学会
会長 佐々木 葉

令和7年度定時総会（通算第111回）開催通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和7年度定時総会を下記のとおり開催いたしますので、万障お繰り合わせのうえご出席くださるようご案内申し上げます。

総会の成立には、正会員の過半数の出席（または委任状）が必要です（定款第17条）。総会にご出席いただけない場合は、総会成立のため、必ず委任状をご提出くださるようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：令和7年6月13日（金） 12:45～19:30

場 所：ホテルメトロポリタンエドモント（東京都千代田区飯田橋3-10-8）

受付開始：12:15～

表彰式：12:45～ アンサンブルシヴィル演奏
13:00～ 特別講演 今村文彦副会長
13:35～ 令和6年度土木学会賞表彰式

定時総会：15:45～17:30

| | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | 2024年度事業報告（第1号報告）..... | 2 |
| 2 | 2024年度決算（第1号議案）..... | 6 |
| 3 | 理事及び監事選任（第2号議案）..... | 9 |
| 4 | 2025年度事業計画（第2号報告）..... | 12 |
| 5 | 2025年度予算（第3号報告）..... | 14 |

交流会：18:00～19:30（事前申込制）会費：一般5,000円、学生1,000円

※ 表彰式、定時総会の様子は、インターネットでライブ配信を行う予定です。交流会のお申し込み方法、および最新情報は、土木学会ホームページをご参照ください。

2024年度 事業報告

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

1.概要

2024（令和6）年度の事業について、定款第4条（事業）の各事項に沿ってその概要を報告する。

1-1.土木工学に関する調査、研究

本事項については、調査研究、社会支援の各部門および技術推進機構が担当した。

調査研究部門では、部門が定めた年度計画に沿って、研究企画委員会を含む30の調査研究委員会のもと、調査研究活動に取り組んでいる。オンラインシステムを利用した会議や行事の開催、対面とオンライン併用のハイブリッド方式での開催など、様々な方式で調査研究活動をより活発に行なった。例えば委員会活動に関しては、以前に比べて出席率が高くなり、より多くの意見を得られている。行事に関しては地方から参加できる機会が増え、活動成果を会員や社会に広く還元することができた。

また、各調査研究委員会の努力により8件の受託研究を実施した。

自然災害への対応としては、前年度に発生した令和6年能登半島地震について、引き続き調査を行った。

技術推進機構では、技術者教育プログラム審査（JABEE）、国内外の基準・規格に関する調査・研究活動を継続的に行った。受託研究1件を実施した。

1-2.土木工学の発展に資する国際活動

本事項については、国際および調査研究、技術推進機構の各部門が担当した。

国際部門では、「JSCE2020-2024」の中期重点目標の一つである「②国際：我が国が有する質の高いインフラの海外

展開と国際的諸課題の解決への主体的貢献」を踏まえ、国際センターを中心とした学術交流基金管理委員会、ACECC担当委員会、調査研究委員会、海外協定学協会等と連携して、国内外への情報発信、国際交流・意見交換、シンポジウム等の会合、現場見学会などの活動を開催した。

アジア土木学協会連合協議会（ACECC）では、ACECCの運営や技術委員会（Technical Committee）等の活動を支援した。

また、学術交流基金による海外若手技術者対象訪日研修プログラム（Study Tour Grant）、国際交流や共同研究活動に支援を行なった。

1-3.土木工学に関する建議ならびに諮問に対する答申

本事項については、総務、調査研究の各部門で活動が行われた。

「流域全体における水収支の把握と領域の垣根を越えた協働で進める流域治水～流域内の水量バランスを全住民が知り、考え、行動するために～」として、土木学会豪雨災害対策総合検討委員会フォローアップWGから、2024年7月に提言書が公表された。

1-4.会誌その他土木工学に関する図書、印刷物の刊行

本事項については、出版部門に加え、コミュニケーション、教育企画、調査研究などの部門が担当した。

出版部門は、本年度は新刊図書16点を発行した。主な刊行物として「土木学会略史2014-2024」、「水理公式集例題集[2024年版]」、「鋼構造架設設計施工指針～2024年改訂版～」などの示方書や指針類の発刊の他、各種委員会シリーズの発刊を行なった。

土木学会誌については、広報活動の中心となる機関誌として、土木の歴史や土木技術の最新動向、現状の課題や将来展望に関わる時宜を得た情報を提供した。特に、土木学会の内外のつなぎ役として役立つよう、学際的な視点を重視しながら、特集記事、連載記事を通して積極的な情報発信を行った。さらには、土木およびインフラの役割に関する国民の理解を深めるために、学会の本部・支部、各委員会の活動に注目し、総合性、学際性の視点から広く市民の共感を得る活動を積極的に取り上げた。

1-5. 土木工学に関する研究発表会、講演会、講習会等の開催および見学視察等の実施

本事項については、調査研究部門に加え、総務、教育企画の各部門が担当した。

土木学会は、1914年の創立以来、2024年11月に110周年を迎える記念式典等を実施し、110周年特別企画「土木との接点をデザインする」、「土木技術者像を描く」の成果報告や特別展示を行った。全国大会については、東北支部の担当により、2024年9月2日～6日の間、「自然とくらしの奥深き風景をつくる土木へ」をテーマとして、東北大川内北キャンパス、川内南キャンパス、仙台国際センターほかを中心実施した。また、参加費のキャッシュレス決済や、QRコードによる入場管理から受講証明発行までを行った。

日本建築学会とは共通に関心のある課題、連携して取り組むべき課題について共同タスクフォースを設置し議論を進めているが、本年度も12月9日に合同シンポジウムを開催し活動状況を報告した。

調査研究委員会の活動成果は、各委員会主催の講習会やシンポジウム、研究発表会等を対面、オンラインまたはハイブリッド方式での開催により、広く会員や社会に還元した。

また、ジョイントセミナーによる国際技術交流を行った。

1-6. 土木工学に関する奨励、援助

本事項については、企画、教育企画、コミュニケーション、

総務、社会支援、調査研究の各部門および技術推進機構が担当した。

公益増進事業では、インフラマネジメントの国際展開などの活動への研究助成を行った。

土木学会賞については、総務部門を中心に、表彰委員会、各賞の選考委員会にて慎重な評価、選考を行い、総数117件を表彰した。

1-7. 土木工学に関する学術、技術の評価

本事項については、調査研究部門、総務の各部門および技術推進機構が担当した。

土木学会論文集については、昨年同様、国内の最新の研究成果・技術を、国内と海外に向けて迅速かつ確実に発信するために、オンラインプラットフォーム（J-STAGE）上で、和文論文集は『土木学会論文集（英語：Japanese Journal of JSCE）』、英文論文集は『Journal of JSCE』として公開・発行した。

技術評価委員会では、新規4件、更新3件について技術評価を実施し公表した。

1-8. 土木技術者の資格付与と教育

本事項については、技術推進機構が担当し、土木学会認定土木技術者資格制度およびCPD制度の広範な活用を目指し、制度の広報、円滑な実施に取り組んだ。

土木技術者資格委員会では、資格保有者の活用を促進するため、国土交通省民間資格登録の更新申請を行った（合計74資格登録）。

また、特別上級および上級、1級、2級土木技術者資格試験を実施した。受験申込者の総数は1,293名、合格者の総数は502名であった。外国人技術者への適用方法の検討、障がい者の受験対応についても実施した。

継続学習委員会では、CPDがより土木技術者の自己研鑽を支援する制度となるよう、システムによるサービスについて、利用者、使用者の意見を踏まえ、隨時改修し、利便

性向上と関連業務の改善に努めた。また、CPD認定プログラムの実施情報をメールニュースやウェブサイト等で、利用者へ積極的に情報発信を行った。

1-9.土木に関する啓発および広報活動

本事項については、企画、コミュニケーション、教育企画、および情報資料の各部門が担当した。

コミュニケーション部門では、例年、本部、各支部で展開される「土木の日」および「くらしと土木の週間」の各種活動について、本部行事として「土木コレクション2024」を昨年度につづき新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催した。その「土木コレクション2024」の初日にオープニングセレモニーを実施し、「土木の日」の積極的な発信を行った。

また、土木を学べる体験型イベントの「オープンキャンパス土木学会2024」を7月に週末開催した。

子どもたちが楽しみながら防災を学ぶことができる「ポケドボ」カードゲームを活用した出前授業を行ったほか、インフラツーリズムの模様をYouTubeで公開するなど活発にSNSを活用して魅力を発信した。

土木学会の独自メディア「土木学会tv」では、「インフラ解説動画」、「となりの現場めし」、「土木学会誌チャンネル」、2024年度会長プロジェクト「土木学会の風景を描くプロジェクト」をはじめとする各種イベントをオンライン配信・アーカイブ公開した。

他団体との活動では、「中央エフエム」(東京都中央区の地域コミュニティFMラジオ局)において2019年5月からスタートしたラジオ番組「ドボクのラジオ」を継続するとともに、放送音源をアーカイブ化し、いつでも視聴可能としている。

「台湾土木遺産視察ツアー」を5年ぶりに開催し、海外初の選奨土木遺産である「烏山頭水庫」、「台南水道」を中心に、3泊4日の行程で視察を行った。

映像を通じて土木技術を広く一般に紹介する上映会「イ

ブニングシアター」を4回開催し、一般の方々を含む335名の参加者を得た。また東北大学川内北キャンパスにて全国大会映画会を開催し、2日間で497名が参加した。

1-10.土木関係資料の収集・保管・公開および土木図書館の運営

本事項については、情報資料部門が担当した。

情報資料部門では、土木学会が発信する学術情報をはじめ土木に関する情報・資料・映像などを土木図書館に継続的に収集・保管し、土木デジタルアーカイブスや各種データベースの拡充に努めている。

学術論文のウェブ公開事業では累計33万件に及ぶ原文PDFを公開し、土木デジタルアーカイブス構築事業では戦前の貴重資料約10万件や絵葉書・写真ライブラリー約2万点、図面アーカイブ累計3万枚のほか、コンテンツの維持・拡充を行った。

1-11.その他目的を達成するために必要なこと

本事項については、企画、総務、財務・経理および会員・支部の各部門が担当した。

企画部門を中心として、土木学会次期五か年計画JSCE2025について、現状分析WG・将来展望WGでの検討を元に、とりまとめを行った。

110周年を迎える、令和6（2024）年11月19日に記念式典等を実施し、110周年特別企画「土木との接点をデザインする」、「土木技術者像を描く」の成果報告や特別展示を行った。

学会事務局（本部、支部）における業務の継続・効率化を図るためにオンラインシステム、リモートシステム等の整備を進め活用してきた。

総会運営では、電磁的方法による会員への総会通知の発信、総会委任状の提出を継続実施した。また、本年度の定時総会もオンラインシステムでの中継を導入した。昨年同様に授賞式では、各賞の代表者に対して会長が賞状を授与する形式で実施し、受賞者から好評を得るものとなった。理事

会では会議運営の改善を継続し、審議・討議時間の確保、会議資料のペーパーレス化、スライドを用いた議事進行など、効率的な運営に努めるほか、全ての理事会はオンラインシステムを使ってハイブリッド方式で開催した。

財政関係では、各部門と連携して、予算の適正な執行管理および収支均衡の努力を継続して行い、財務面で安定的な学会運営に努めて、適切な予算執行に努めた。

会計のより厳正な管理のため、監査法人による期中・期末監査を本部で実施した。

2025年度予算編成においては、今後の安定的な学会活動継続のため、決算時点における収支均衡達成可能な予算編成を行った。

「JSCE2020-2024」の4つの中期重点目標である「安全・安心」、「国際」、「コミュニケーション」および「人材」について、引き続き学会として重要な事業であるとの認識のもと、予算ヒアリング等を通して各部門および各支部の活動状況や実効性を吟味し予算編成を行った。

※各部門・機構の事業報告は、土木学会ホームページからご覧になります。

2024年度 正味財産増減計算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

単位：円

| 勘定科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| I 一般正味財産の部 | | | |
| I-1 経常増減の部 | | | |
| 1. 特定資産運用益 | 1,373,440 | 530,016 | 843,424 |
| 2. 受取入会金 | 2,150,000 | 1,974,000 | 176,000 |
| 3. 受取会費 | 585,429,813 | 577,808,694 | 7,621,119 |
| (1) 個人正会員 | 352,809,001 | 349,009,335 | 3,799,666 |
| (2) フェロー（差額） | 6,282,000 | 7,247,500 | △ 965,500 |
| (3) 学生会員 | 19,927,332 | 20,888,167 | △ 960,835 |
| (4) 法人正会員・特別会員 | 146,938,480 | 145,742,692 | 1,195,788 |
| (5) 前納制度会費 | 659,500 | 102,500 | 557,000 |
| (6) 過年度会費 | 16,700,500 | 13,636,500 | 3,064,000 |
| (7) 支部賛助会費 | 42,113,000 | 41,182,000 | 931,000 |
| 4. 事業収益 | 542,798,675 | 690,676,006 | △ 147,877,331 |
| (1) 広告収益 | 10,968,190 | 10,468,650 | 499,540 |
| (2) 行事収益 | 157,713,099 | 212,512,280 | △ 54,799,181 |
| (3) 大会参加料収益 | 90,583,000 | 79,480,000 | 11,103,000 |
| (4) 受託研究収益 | 48,853,168 | 67,879,591 | △ 19,026,423 |
| (5) 刊行物収益 | 146,694,835 | 227,522,826 | △ 80,827,991 |
| (6) 防災教材収益 | 3,680 | 18,720 | △ 15,040 |
| (7) 印税監修料収益 | 1,912,295 | 1,874,895 | 37,400 |
| (8) 著作権使用料収益 | 74,745 | 247,599 | △ 172,854 |
| (9) 論文集購読収益 | 23,728,900 | 23,245,000 | 483,900 |
| (10) 論文集掲載料収益 | 13,766,100 | 16,285,600 | △ 2,519,500 |
| (11) 継続教育収益 | 20,285,900 | 18,576,400 | 1,709,500 |
| (12) 技術者資格収益 | 21,227,243 | 25,890,700 | △ 4,663,457 |
| (13) 技術評価収益 | 5,500,000 | 5,500,000 | 0 |
| (14) 技術評価更新収益 | 1,144,000 | 572,000 | 572,000 |
| (15) 図書館収益 | 309,020 | 373,310 | △ 64,290 |
| (16) データベース収益 | 23,760 | 0 | 23,760 |
| (17) モリナガ・ヨウ土木展収益 | 10,740 | 228,435 | △ 217,695 |
| 5. 受取補助金 | 10,340,178 | 4,884,316 | 5,455,862 |
| 6. 受取負担金 | 18,068,698 | 22,994,914 | △ 4,926,216 |
| 7. 受取寄附金 | 43,319,195 | 54,781,009 | △ 11,461,814 |
| (1) 受取寄附金 | 3,784,000 | 2,648,000 | 1,136,000 |
| (2) 一般正味財産への振替額 | 39,535,195 | 52,133,009 | △ 12,597,814 |
| 8. 雑収益 | 3,508,913 | 2,987,069 | 521,844 |
| (1) 受取利息等 | 192,535 | 5,476 | 187,059 |
| (2) 雜収益 | 3,316,378 | 2,981,593 | 334,785 |
| 経常収益計(A) | 1,206,988,912 | 1,356,636,024 | △ 149,647,112 |
| 1. 事業費 | 1,015,203,569 | 1,024,242,897 | △ 9,039,328 |
| (1) 役員給与 | 9,505,995 | 10,005,752 | △ 499,757 |
| (2) 職員給与 | 174,676,535 | 178,424,531 | △ 3,747,996 |
| (3) 賞与引当金繰入 | 14,222,198 | 14,211,397 | 10,801 |
| (4) 臨時雇人給 | 36,374,132 | 38,773,251 | △ 2,399,119 |
| (5) 退職掛金 | 4,570,183 | 4,739,056 | △ 168,873 |
| (6) 退職給付費 | 6,573,112 | 6,671,680 | △ 98,568 |
| (7) 法定福利費 | 34,933,055 | 32,394,115 | 2,538,940 |
| (8) 福利厚生費 | 1,295,501 | 1,510,507 | △ 215,006 |
| (9) 旅費交通費 | 70,745,727 | 71,792,537 | △ 1,046,810 |
| (10) 備品消耗品費 | 9,698,406 | 12,757,683 | △ 3,059,277 |
| (11) 発送・通信費 | 12,447,382 | 15,100,988 | △ 2,653,606 |
| (12) 水道光熱費 | 5,521,292 | 5,253,484 | 267,808 |
| (13) 手数料 | 20,585,216 | 20,043,186 | 542,030 |
| (14) 貸借料 | 30,761,959 | 25,783,445 | 4,978,514 |
| (15) 施設維持費 | 9,256,189 | 8,807,925 | 448,264 |
| (16) 事務OA化費 | 14,836,003 | 10,486,355 | 4,349,648 |
| (17) 租税公課 | 19,886,627 | 26,298,374 | △ 6,411,747 |
| (18) 会議費 | 56,699,782 | 49,458,989 | 7,240,793 |
| (19) 涉外費 | 32,432 | 34,184 | △ 1,752 |
| (20) 広報宣伝費 | 5,188,231 | 5,825,619 | △ 637,388 |
| (21) 減価償却費 | 13,482,071 | 13,608,700 | △ 126,629 |
| (22) 刊行物制作費 | 45,879,904 | 49,781,230 | △ 3,901,326 |
| (23) 報告書等製作費 | 13,688,992 | 15,916,333 | △ 2,227,341 |

単位：円

| 勘定科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| (24) 会誌編集製作費 | 67,819,878 | 62,521,700 | 5,298,178 |
| (25) 期首棚卸高 | 66,891,925 | 70,866,007 | △ 3,974,082 |
| (26) 期末棚卸高 | △ 52,586,504 | △ 74,175,620 | 21,589,116 |
| (27) 棚卸図書廃棄損 | 3,379,180 | 7,283,695 | △ 3,904,515 |
| (28) 支払印税費 | 1,297,392 | 986,195 | 311,197 |
| (29) 図書仕入費 | 24,565,983 | 51,729,322 | 0 |
| (30) 謝金・賞金 | 24,313,773 | 36,799,584 | △ 12,485,811 |
| (31) 研究助成費 | 38,700,470 | 39,386,260 | △ 685,790 |
| (32) システム等使用料 | 48,616,484 | 44,574,963 | 4,041,521 |
| (33) 支払会費 | 1,593,105 | 1,576,678 | 16,427 |
| (34) 委託業務費 | 115,465,740 | 103,003,426 | 12,462,314 |
| (35) 事業諸経費 | 61,954,237 | 58,329,611 | 3,624,626 |
| (36) 事務委託費 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| (37) 事業管理費 | 619,264 | 1,555,069 | △ 935,805 |
| (38) 雑費 | 1,098,779 | 1,185,678 | △ 86,899 |
| (39) 雑損失 | 112,939 | 318,303 | △ 205,364 |
| (40) モリナガ・ヨウ土木展製作費 | 0 | 122,705 | △ 122,705 |
| 2. 管理費 | 280,978,900 | 259,775,471 | 21,203,429 |
| (1) 役員給与 | 4,493,997 | 4,047,270 | 446,727 |
| (2) 職員給与 | 99,128,706 | 90,175,727 | 8,952,979 |
| (3) 賞与引当金繰入 | 7,815,137 | 6,847,089 | 968,048 |
| (4) 臨時雇人給 | 10,474,471 | 8,667,534 | 1,806,937 |
| (5) 退職掛金 | 2,494,857 | 2,284,944 | 209,913 |
| (6) 退職給付費 | 6,161,438 | 5,053,229 | 1,108,209 |
| (7) 法定福利費 | 19,545,307 | 16,346,204 | 3,199,103 |
| (8) 福利厚生費 | 693,933 | 698,891 | △ 4958 |
| (9) 旅費交通費 | 3,426,417 | 3,169,040 | 257,377 |
| (10) 備品消耗品費 | 2,620,001 | 2,651,297 | △ 31,296 |
| (11) 発送・通信費 | 2,419,673 | 2,128,670 | 291,003 |
| (12) 水道光熱費 | 3,138,361 | 2,699,540 | 438,821 |
| (13) 手数料 | 4,857,639 | 4,092,889 | 764,750 |
| (14) 貸借料 | 11,315,711 | 11,209,056 | 106,655 |
| (15) 施設維持費 | 2,267,071 | 4,688,470 | △ 2,421,399 |
| (16) 事務OA化費 | 5,140,692 | 4,632,865 | 507,827 |
| (17) 租税公課 | 298,673 | 359,346 | △ 60,673 |
| (18) 会議費 | 7,457,205 | 7,823,176 | △ 365,971 |
| (19) 謝金・賞金 | 66,822 | 33,411 | 33,411 |
| (20) 渉外費 | 25,830 | 27,823 | △ 1,993 |
| (21) 広報宣伝費 | 288,985 | 108,173 | 180,812 |
| (22) 減価償却費 | 4,811,428 | 4,670,347 | 141,081 |
| (23) 会員管理費 | 78,275,948 | 73,257,306 | 5,018,642 |
| (24) 学協会費 | 2,970,958 | 2,965,065 | 5,893 |
| (25) 雑費 | 209,640 | 617,059 | △ 407,419 |
| (26) 雑損失 | 80,000 | 0 | 80,000 |
| (27) 事業諸経費 | 0 | 21,050 | △ 21,050 |
| (28) 事務委託費 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 3. 貸倒引当金繰入額 | 18,755 | 79,130 | △ 60,375 |
| 経常費用計 (B) | 1,296,201,224 | 1,284,097,498 | 12,103,726 |
| 当期経常増減額 | △ 89,212,312 | 72,538,526 | △ 161,750,838 |
| I - 2 経常外増減の部 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| 1. 什器備品除却損 | 1 | 1 | 0 |
| 経常外費用計 | 1 | 1 | 0 |
| 当期経常外増減額 (C) | △ 1 | △ 1 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 (D) | △ 89,212,313 | 72,538,525 | △ 161,750,838 |
| 一般正味財産期首残高 (E) | 3,059,269,745 | 2,986,746,220 | 72,523,525 |
| 一般正味財産期末残高 (F) = (D) + (E) | 2,970,057,432 | 3,059,284,745 | △ 89,227,313 |
| II 指定正味財産の部 | | | |
| 1. 受取寄附金 | 61,610,000 | 63,297,371 | △ 1,687,371 |
| 2. 一般正味財産への振替額 | △ 39,535,195 | △ 52,133,009 | 12,597,814 |
| (1) 受取寄附金 | △ 39,535,195 | △ 52,133,009 | 12,597,814 |
| 当期指定正味財産増減額 (G) | 22,074,805 | 11,164,362 | 10,910,443 |
| 指定正味財産期首残高 (H) | 667,034,229 | 655,869,867 | 11,164,362 |
| 指定正味財産期末残高 (I) = (G) + (H) | 689,109,034 | 667,034,229 | 22,074,805 |
| III 正味財産期末残高 (J) = (F) + (I) | 3,659,166,466 | 3,726,318,974 | △ 67,152,508 |

2024年度 貸借対照表

2025年3月31日現在

単位：円

| 勘定科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| I. 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 573,204,977 | 664,574,275 | △ 91,369,298 |
| 売掛金 | 24,398,872 | 26,472,406 | △ 2,073,534 |
| 未収入金 | 37,632,154 | 38,156,911 | △ 524,757 |
| 仮払金 | 11,569 | 23,558 | △ 11,989 |
| 立替金 | 0 | 0 | 0 |
| 前払金 | 7,971,952 | 9,306,674 | △ 1,334,722 |
| 前払費用 | 335,832 | 392,636 | △ 56,804 |
| 貯蔵品 | 275,875 | 346,019 | △ 70,144 |
| 棚卸図書・出版 | 46,609,304 | 66,491,686 | △ 19,882,382 |
| 仕掛品 | 2,598,020 | 400,239 | 2,197,781 |
| 貸倒引当金 | △ 18,755 | △ 79,130 | 60,375 |
| 流動資産合計 | 693,019,800 | 806,085,274 | △ 113,065,474 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 土地 | 1,044,035,424 | 1,044,035,424 | 0 |
| 基本財産合計 | 1,044,035,424 | 1,044,035,424 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 基金 | 306,749,175 | 306,749,175 | 0 |
| 退職給付引当預金 | 138,204,817 | 125,291,554 | 12,913,263 |
| 建物減価償却引当預金 | 228,176,757 | 219,353,542 | 8,823,215 |
| 建物附属設備減価償却引当預金 | 211,113,573 | 209,486,715 | 1,626,858 |
| 構築物減価償却引当預金 | 30,968,731 | 30,779,039 | 189,692 |
| 機械装置減価償却引当預金 | 0 | 0 | 0 |
| 什器減価償却引当預金 | 92,623,392 | 94,391,654 | △ 1,768,262 |
| 全国大会積立預金 | 60,602,536 | 60,602,536 | 0 |
| 災害調査積立預金 | 32,108,262 | 32,103,562 | 4,700 |
| 記念事業積立預金 | 32,401,082 | 34,751,075 | △ 2,349,993 |
| 学術文化事業積立預金 | 24,979,109 | 25,749,961 | △ 770,852 |
| 重点研究課題積立預金 | 116,242,609 | 114,452,609 | 1,790,000 |
| 吉田賞積立金 | 7,441,187 | 7,493,764 | △ 52,577 |
| 出版安定化積立預金 | 196,923,429 | 168,047,729 | 28,875,700 |
| 支部運営積立預金 | 29,713,351 | 39,595,789 | △ 9,882,438 |
| 論文集システム改修費預金 | 0 | 0 | 0 |
| 修繕積立預金 | 35,000,000 | 35,000,000 | 0 |
| 公益増進資金 | 312,940,340 | 383,037,926 | △ 70,097,586 |
| 地域貢献資金 | 140,865,825 | 149,023,356 | △ 8,157,531 |
| 特定資産合計 | 1,997,054,175 | 2,035,909,986 | △ 38,855,811 |
| (3) その他の固定資産 | | | |
| 建物 | 485,259,294 | 485,259,294 | 0 |
| 建物減価償却累計額 | △ 228,176,757 | △ 219,353,542 | △ 8,823,215 |
| 建物附属設備 | 219,271,723 | 217,687,723 | 1,584,000 |
| 建物附属設備減価償却累計額 | △ 211,113,573 | △ 209,486,715 | △ 1,626,858 |
| 構築物 | 32,434,903 | 32,434,903 | 0 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 30,968,731 | △ 30,779,039 | 189,692 |
| 機械及び装置 | 0 | 0 | 0 |
| 機械装置減価償却累計額 | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品 | 98,127,260 | 97,362,660 | 76,600 |
| 什器減価償却累計額 | △ 92,623,351 | △ 94,391,613 | △ 1,768,262 |
| リース資産 | 22,651,200 | 22,651,200 | 0 |
| リース減価償却累計額 | △ 15,100,800 | △ 10,570,560 | △ 4,530,240 |
| ソフトウェア | 11,162,070 | 7,197,827 | 3,964,243 |
| ソフトウェア版勘定 | 0 | 0 | 0 |
| 敷金、保証金 | 9,663,983 | 9,688,973 | △ 24,990 |
| その他固定資産合計 | 300,587,221 | 307,701,111 | △ 7,113,890 |
| 固定資産合計 | 3,341,676,820 | 3,387,646,521 | △ 45,969,701 |
| 資産合計 | 4,034,696,620 | 4,193,731,795 | △ 159,035,175 |
| II. 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 22,277,322 | 43,031,997 | △ 20,754,675 |
| 預り金 | 4,639,887 | 8,116,938 | △ 3,477,051 |
| 仮受金 | 1,411,098 | 1,307,054 | 104,044 |
| 前受金 | 13,161,190 | 12,952,400 | 208,790 |
| リース債務 | 4,530,240 | 4,530,240 | 0 |
| 賞与引当金 | 22,037,335 | 21,306,368 | 730,967 |
| 受託前受金 | 0 | 8,132,000 | △ 8,132,000 |
| 前受入会金 | 3,000 | 2,000 | 1,000 |
| 前受会費 | 166,245,136 | 234,885,120 | △ 68,639,984 |
| 流動負債合計 | 234,305,208 | 334,264,117 | △ 99,958,909 |
| 2. 固定負債 | | | |
| リース債務 | 3,020,160 | 7,550,400 | △ 4,530,240 |
| 退職給付引当金 | 138,204,786 | 125,598,304 | 12,606,482 |
| 固定負債合計 | 141,224,946 | 133,148,704 | 8,076,242 |
| 負債合計 | 375,530,154 | 467,412,821 | △ 91,882,667 |
| III. 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | 689,109,034 | 667,034,229 | 22,074,805 |
| (うち基本財産への充当額) | 0 | 0 | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | 689,109,034 | 667,034,229 | 22,074,805 |
| 2. 一般正味財産 | 2,970,057,432 | 3,059,284,745 | △ 89,227,313 |
| (うち基本財産への充当額) | 1,044,035,424 | 1,044,035,424 | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | 1,169,740,324 | 1,243,584,203 | △ 73,843,879 |
| 正味財産合計 | 3,659,166,466 | 3,726,318,974 | △ 67,152,508 |
| 負債及び正味財産合計 | 4,034,696,620 | 4,193,731,795 | △ 159,035,175 |

2025年度 新理事及び新監事候補者

【五十音順・敬称略】

| 役職名 | 氏名 | 勤務先・職名(4月11日現在) |
|-----|-------|-----------------------------------|
| 理事 | 泉 典洋 | 北海道大学大学院工学研究院 教授・工学院長 |
| ク | 内田 敬 | 大阪公立大学大学院工学研究科 教授 |
| ク | 小澤 一雅 | 政策研究大学院大学 教授 |
| ク | 菊地身智雄 | (一社)港湾荷役システム協会 先端物流戦略研究所長 |
| ク | 木下 尚樹 | 愛媛大学大学院 理工学研究科理工学専攻 教授 |
| ク | 沓掛 敏夫 | 国土交通省 大臣官房技術審議官 |
| ク | 財津 知亭 | 国土交通省 北海道開発局事業振興部都市住宅課長 |
| ク | 齊藤 武文 | 清水建設(株) 専務執行役員 土木総本部副総本部長、土木東京支店長 |
| ク | 齊藤 誠 | 東日本旅客鉄道(株) 執行役員建設工事部長 |
| ク | 高橋 良和 | 京都大学大学院工学研究科 教授 |
| ク | 寺田賢二郎 | 東北大学工学研究科土木工学専攻 教授 |
| ク | 能島 暢呂 | 岐阜大学工学部 教授 |
| ク | 蓮輪 賢治 | (株)大林組 取締役副会長 |
| ク | 美藤 文秀 | 東日本旅客鉄道(株) 東北建設PMO所長 |
| ク | 藤井 久矢 | パシフィックコンサルタンツ(株) 常務執行役員 |
| ク | 三輪 準二 | (公社)土木学会 専務理事 |
| ク | 森 望 | (株)富士ピー・エス 土木本部顧問 |
| ク | 森口 敏美 | 鹿島建設(株) 常務執行役員土木管理本部副本部長 |
| ク | 山本 広祐 | (一財)電力中央研究所 業務執行理事 |
| 監事 | 湯川 雅史 | 東京都建設局 理事・(公財)東京都道路整備保全公社 理事長 |

2025年度 新理事及び新監事 候補者略歴

【五十音順・敬称略】

いづみ のりひろ
泉 典洋 (1963年生) _____

現 職 北海道大学大学院工学研究院 教授・工学院長
略 歴

1987年 3月 東京大学工学部土木工学科卒業
1996年 4月 東北大学工学部土木工学科助教授
2006年 4月 北海道大学大学院工学研究科教授
土木学会歴
フェロー会員
2023年度 水工学委員会委員長 など

うちだ たかし
内田 敬 (1963年生) _____

現 職 大阪公立大学大学院工学研究科 教授
略 歴

1988年 3月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
1996年 4月 東北大学大学院工学研究科助教授
2001年 10月 大阪市立大学大学院工学研究科助教授
土木学会歴
フェロー会員
2011年度 土木計画学研究委員会委員 など

おざわ かずまさ
小澤 一雅 (1960年生) _____

現 職 政策研究大学院大学 教授
略 歴

1986年 3月 東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程修了
2004年 10月 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授
2021年 4月 東京大学大学院工学系研究科総合研究機構特任教授
土木学会歴
フェロー会員
2010~2013年度 建設マネジメント委員会委員長 など

きくち みちお
菊地 身智雄 (1961年生) _____

現 職 (一社)港湾荷役システム協会 先端物流戦略研究所長
略 歴

1985年 3月 東北大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
1985年 4月 運輸省入省
2018年 7月 国土交通省技監
土木学会歴
正会員
2018年度 CECAR8組織委員会顧問 など

きのした なおき
木下 尚樹 (1965年生) _____

現 職 爱媛大学大学院 理工学研究科理工学専攻教授
略 歴

1990年 3月 爱媛大学大学院工学研究科土木工学会修士課程修了
1990年 4月 大成建設(株)入社
2019年 4月 爱媛大学大学院理工学研究科准教授
土木学会歴
フェロー会員
2024年度 岩盤力学委員会委員 など

くつかけ としお
沓掛 敏夫 (1967年生) _____

現 職 國土交通省 大臣官房技術審議官
略 歴

1991年 3月 京都大学工学部土木工学科卒業
1991年 4月 建設省入省
2022年 6月 國土交通省道路局企画課長
土木学会歴
正会員
2017年度 土木計画学研究委員会委員 など

さいとう ともゆき
財津 知亭 (1971年生) _____

現 職 國土交通省 北海道開発局事業振興部都市住宅課長
略 歴

1995年 3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科修了
1995年 4月 北海道開発庁入庁
2017年 4月 九州地方整備局武雄河川事務所長
土木学会歴
フェロー会員
2021年度 北海道支部商議員 など

さいとう たけふみ
齊藤 武文 (1962年生) _____

現 職 清水建設(株) 専務執行役員 土木総本部副総本部長、
土木東京支店長
略 歴

1988年 3月 金沢大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
1988年 4月 清水建設(株)入社
2018年 4月 清水建設(株)執行役員北陸支店長
土木学会歴
フェロー会員

さいとう まこと
齊藤 誠 (1968年生) _____

現 職 東日本旅客鉄道(株) 執行役員建設工事部長
略 歴

1991年 3月 京都大学工学部土木工学科卒業
1991年 4月 東日本旅客鉄道(株)入社
2020年 6月 東日本旅客鉄道(株)総合企画本部投資計画部担当部長
土木学会歴
フェロー会員
2016年度 関東支部商議員 など

たかはし よしかず
高橋 良和 (1970年生) _____

現 職 京都大学大学院工学研究科 教授
略 歴

1996年 3月 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了
1996年 4月 京都大学大学院工学研究科助手
2006年 4月 京都大学防災研究所助教授
土木学会歴
正会員
2025年度 地震工学委員会委員長 など

てらだ けんじろう
寺田 賢二郎 (1965年生) _____

現職 東北大学工学研究科土木工学専攻 教授
略歴
1990年3月 名古屋大学工学部土木工学科卒業
1990年6月 清水建設(株)入社
2012年7月 東北大学災害科学国際研究所教授
土木学会歴
フェロー会員
2014年度 応用力学委員会委員長 など

のじま のぶおと
能島 暁呂 (1963年生) _____

現職 岐阜大学工学部 教授
略歴
1992年3月 京都大学大学院工学研究科博士後期課程
土木工学専攻研究指導認定退学
1992年4月 京都大学防災研究所助手
1998年4月 岐阜大学工学部助教授
土木学会歴
フェロー会員
2016年度 全国大会委員会委員 など

はすわ けんじ
蓮輪 賢治 (1953年生) _____

現職 (株)大林組 取締役副会長
略歴
1977年3月 大阪大学工学部土木工学科卒業
1977年4月 (株)大林組入社
2018年3月 (株)大林組代表取締役社長
2023年4月 (株)大林組代表取締役社長 兼 CEO
土木学会歴
フェロー会員

びとう ふみひで
美藤 文秀 (1969年生) _____

現職 東日本旅客鉄道(株)東北建設PMO所長
略歴
1992年4月 東日本旅客鉄道(株)入社
2005年10月 東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所副課長
2016年6月 東日本旅客鉄道(株)八王子支社総務部部長
土木学会歴
フェロー会員
2023年度 東北支部商議員 など

ふじい ひさや
藤井 久矢 (1964年生) _____

現職 パシフィックコンサルタンツ(株) 常務執行役員
略歴
1988年3月 関西大学工学部土木工学科卒業
1988年4月 パシフィックコンサルタンツ(株)入社
2022年10月 パシフィックコンサルタンツ(株)上席執行役員大阪本社長
土木学会歴
フェロー会員
コンクリート構造物の耐火技術研究小委員会委員 など

みねじゅんじ
三輪 準二 (1965年生) _____

現職 (公社)土木学会 専務理事
略歴
1989年3月 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
1989年4月 建設省入省
2021年10月 国土交通省東北地方整備局副局長
土木学会歴
フェロー会員
2023年度 表彰委員会委員 など

もり のぞむ
森 望 (1959年生) _____

現職 (株)富士ピー・エス 土木本部顧問
略歴
1984年3月 九州大学大学院工学研究科修了
1984年4月 建設省入省
2016年7月 久留米市副市長
土木学会歴
正会員
2008年度 建設マネジメント委員会委員 など

もりぐち まさみ
森口 敏美 (1962年生) _____

現職 鹿島建設(株) 常務執行役員土木管理本部副本部長
略歴
1986年3月 東京大学工学部土木工学科卒業
1986年4月 鹿島建設(株)入社
2017年4月 鹿島建設(株)東京土木支店土木部長
土木学会歴
フェロー会員
2022年度 建設マネジメント委員会委員 など

やまもと こうすけ
山本 広祐 (1962年生) _____

現職 (一財)電力中央研究所 業務執行理事
略歴
1987年3月 北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了
1987年4月 (財)電力中央研究所我孫子研究所耐震構造部研究員
2016年7月 (一財)電力中央研究所地球工学研究所長
土木学会歴
フェロー会員
2007年度 鋼構造委員会委員 など

ゆかわ まさふみ
湯川 雅史 (1965年生) _____

現職 東京都建設局 理事・(公財)東京都道路整備保全公社 理事長
略歴
1990年3月 佐賀大学大学院土木工学専攻修士課程修了
1990年4月 東京都建設局入都
2023年4月 東京都都市整備局技監
2024年4月 東京都建設局道路監
土木学会歴
正会員
建設マネジメント委員会委員 など

2025年度 事業計画

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

1.概要

1-1. 5か年計画「JSCE2025」策定

2025年度策定予定の新5か年計画JSCE2025で示す課題の解決に向け、取り組み方策及び具体的な取り組みを検討し、一部を開始する。特に重要とするテーマについてはプロジェクトチームもしくは小委員会を立ち上げ、横断的・重点的な取り組みを行う。

1-2.大規模な自然災害やインフラメンテナンス等への対応

土木学会では、内外の関係機関、関連学協会等と連携を図り、近年多発している種々の自然災害に対し、迅速な調査、公表を行うとともに、必要な技術的助言・提言を専門家集団である当会の社会的責務として引き続き行う。また、「インフラメンテナンス＆マネジメントのためのオール土木学会とりくみ検討会」を立ち上げる。

インフラメンテナンスに関して、関係団体及び地方自治体と連携するとともに、喫緊の課題である地方インフラのメンテナンスに関する問題やそれに関わる人材の育成について、講習会や教材の作成等を行う。また、インフラメンテナンスにより、地域社会に顕著な貢献をしたプロジェクト・技術者を対象として引き続き、表彰制度を展開する。

1-3.社会とのコミュニケーションの推進

土木広報戦略会議で確認した土木広報の方向性を示す3つのキーワード（くらしと土木、伝えるから伝わるへ、知りたくなる土木）のもと、各支部や土木界の各団体と連携しながら、様々なコミュニケーションツールを使って引き続き活動を推進する。

市民交流イベントでは、「未来の土木コンテスト」、「土木コレクション」および「オープンキャンパス土木学会」等の実施にあたっては、オンラインをはじめとする様々なツ

ールも活用しながら推進する。

また、ローカルメディアへのアプローチとしての「ドボクのラジオ」、学会独自メディア「土木学会tv」、一般向けに土木用語を解説する「インフラ解説動画」、土木の魅力を発信する短編映像、Web情報誌「from DOBOKU」等を企画し、土木の魅力を引き続き発信していく。

土木学会と市民協働団体との連携を目的として、2020年度に立ちあげた「インフラパートナー制度」の拡充を図るとともに、インフラパートナー相互の理解を深める。

土木学会誌については、「広がる土木のいまを伝えます」を編集の基本方針として、土木業界外からの意見にも耳を傾けた上で、魅力的な会誌編集を行う。

1-4.国際活動の充実

国際センターの設置から13年を経て活動が多岐に渡るとともに、有機的に連携できていない活動や一定の目的を達成したと評価される活動などもあり、国際センターのミッションを再定義し、「国際的な人材の育成」を活動の基軸にして体制を刷新する。具体的には、これまで6つのグループ（情報Gr、国際交流Gr、教育Gr、プロジェクトGr、留学生Gr、外国人技術者Gr）で行ってきた活動を抜本的に見直し、企画・戦略Gr、国際交流・国際協力Gr、国際プロジェクト・国際人材育成Gr、留学生・外国人技術者Grの4グループに再編して新たなミッションの達成に向けた活動を推進する。

1-5.技術力および人材の育成

減災・防災やインフラメンテナンスなどの問題への対応、DX、カーボンニュートラル等の先進技術のインフラ整備・管理への導入という社会的要請に対して、土木界の人材が地域や他分野と連携し、リーダーとして貢献できる社会の構築を支援する。さらに、若手、女性、シニア、外国人など、多様な人材が活躍できる社会を実現し、土木界における将

来の担い手確保を図るため、ダイバーシティ・アンド・インクルージョン確保のための環境整備の必要性を継続して訴え、多様な働き方などの情報共有を積極的に支援するとともに、魅力ある職場環境を構築して、土木技術者が広く活躍できる場の創出を支援する。

次世代技術者の育成ならびに技術者の継続教育の受講機会拡大を図るため、e-ラーニング講座を提供するとともに、倫理観と専門的能力をもって社会に貢献する土木技術者を支援するため、土木技術者資格制度、継続教育制度の充実を図る。

1-6.分野・領域を超えた積極的な交流

気候変動、DX やカーボンニュートラル等の社会的要請に対応するために、学会の枠、自然・社会・人文科学の領域を越えた取組みが重要である。減災・防災の推進を目的として、防災学術連携体の活動に参加する。また、日本建築学会と連携・協働して取り組む課題に対応するため、土木学会・日本建築学会連携タスクフォースを中心に活動を開展する。

1-7.財務の健全化と業務の効率化

安定的な学会活動を継続するため各部門の連携のもと、予算の執行、管理に努め、収支均衡の達成を目指す。なお、定期的な予算の執行状況の確認を行うとともに、経費節減に努め、予算の有効活用を図る。

保有資金の運用については資金運用規則に基づき、安全・確実かつ効率的な運用を検討する。

また、会計コードの見直し等、経理処理の効率化に向けて検討する。

公益認定制度の改正に対し土木学会として適切に対応していく。

学会運営については、総会、理事会等の円滑な運営に継続して努めるとともに、オンライン会議・行事のさらなる利用促進、資料の簡素化、データ化などを進め、会員のニーズに即した的確かつ迅速な意思決定に基づく学会活動の展開を図るよう努める。総会については、効率化と会員の利便性向上を目的に導入した、インターネット等による総会開催通知の送付、委任状の提出について、継続して実施

する。

引き続き本部、支部を含めた学会運営のガバナンス（内部統治）に留意し、学会運営の適正化・効率化を目指し、的確かつ迅速な意思決定に基づく学会活動の展開を図る。

※各部門・機構の事業計画は、土木学会ホームページからご覧になります。

2025年度 予算（正味財産増減ベース）集計表

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

| 区分 | 勘定科目 | 合計 | 公益目的事業 | | |
|----------|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| | | | 公1:調査研究事業 | 公2:講演会等事業 | 公3:表彰・助成事業 |
| 経常増減の部 | 1. 特定資産運用益 | 102% 4,338,000 4,245,500 | 740% 37,000 5,000 | 86% 6,000 7,000 | 100% 4,226,000 4,225,500 |
| | 2. 受取入会金 | 107% 1,977,000 1,841,000 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 3. 受取会費 | 101% 578,542,000 570,415,000 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 4. 事業収益 | 94% 498,507,000 529,236,000 | 80% 185,247,000 232,144,000 | 107% 226,175,000 211,427,000 | 101% 37,636,000 37,210,000 |
| | 5. 受取補助金・受取負担金・受取寄附金 | 79% 74,590,000 94,555,000 | 91% 7,200,000 7,900,000 | 57% 810,000 1,420,000 | 71% 46,475,000 65,025,000 |
| | 6. 雑収益 | 124% 2,518,000 2,033,500 | 100% 100,000 100,000 | 100% 5,000 5,000 | 0 0 |
| | 7. 貸倒引当金取崩額 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 経常収益計(A) | 97% 1,160,472,000 1,202,326,000 | 80% 192,584,000 240,149,000 | 107% 226,996,000 212,859,000 | 83% 88,337,000 106,460,500 |
| | 1. 事業費 | 95% 1,208,308,785 1,276,072,440 | 97% 479,730,685 497,008,440 | 99% 298,919,250 302,473,000 | 76% 187,662,000 246,822,000 |
| | うち事業管理費 | 102% 442,286,800 435,244,000 | 104% 158,423,000 152,220,000 | 96% 114,332,000 119,391,000 | 105% 22,196,000 21,139,000 |
| 一般正味財産の部 | 2. 管理費 | 103% 266,493,500 259,348,000 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 3. 貸倒引当金繰入額 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 経常費用計(B) | 96% 1,474,802,285 1,535,420,440 | 97% 479,730,685 497,008,440 | 99% 298,919,250 302,473,000 | 76% 187,662,000 246,822,000 |
| | 当期経常増減額(C) = (A) - (B) | △ 314,330,285 △ 333,094,440 | △ 287,146,685 △ 256,859,440 | △ 71,923,250 △ 89,614,000 | △ 99,325,000 △ 140,361,500 |
| | 1. 固定資産売却益 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| 経常外増減の部 | 経常外収益計(D) | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 2. 什器備品除却損 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 経常外費用計(E) | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 経常外増減の部(F) = (D) - (E) | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 他会計振替額(G) | 他会計繰入額 0 0 | 229,489,000 229,531,000 | 97,856,700 117,492,000 | 28,381,000 48,478,000 |
| 指定正味財産の部 | 他会計振替額(G) | 他会計繰出額 0 0 | △ 2,223,000 △ 2,223,000 | △ 33,000,000 △ 33,500,000 | △ 22,329,000 △ 10,146,000 |
| | 当期一般正味財産増減額(H) = (C) + (F) + (G) | △ 314,330,285 △ 333,094,440 | △ 59,880,685 △ 29,551,440 | △ 7,066,550 △ 5,622,000 | △ 93,273,000 △ 102,029,500 |
| | 一般正味財産期首残高(I) | 2,165,878,447 2,319,826,660 | △ 108,857,697 △ 92,889,697 | 484,841,768 490,463,768 | 57,808,046 159,837,546 |
| | 一般正味財産期末残高(J) = (H) + (I) | 1,851,548,162 1,986,732,220 | △ 168,738,382 △ 122,441,137 | 477,775,218 484,841,768 | △ 35,464,954 57,808,046 |
| | 1. 特定資産運用益 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| 指定正味財産の部 | 2. 受取寄附金 | 100% 3,800,000 3,800,000 | 100% 800,000 800,000 | 0 0 | 100% 3,000,000 3,000,000 |
| | 3. 一般正味財産への振替額 | 97% △ 60,588,000 △ 62,171,000 | 100% △ 1,200,000 △ 1,200,000 | △ 1,000,000 0 | 96% △ 58,388,000 △ 60,971,000 |
| | 当期指定正味財産増減額(K) | △ 56,788,000 △ 58,371,000 | △ 400,000 △ 400,000 | △ 1,000,000 0 | △ 55,388,000 △ 57,971,000 |
| | 指定正味財産期首残高(L) | 231,025,668 289,396,668 | 6,889,747 7,289,747 | 4,260,000 4,260,000 | 219,861,612 277,832,612 |
| | 指定正味財産期末残高(M) = (K) + (L) | 174,237,668 231,025,668 | 6,489,747 6,889,747 | 3,260,000 4,260,000 | 164,473,612 219,861,612 |
| | 正味財産期末残高(J) + (M) | 2,025,785,830 2,217,757,888 | △ 162,248,635 △ 115,551,390 | 481,035,218 489,101,768 | 129,008,658 277,669,658 |

単位：円、太字は2025年度予算額、斜字は2024年度予算額、%は2025年度予算額/2024年度予算額

| 公益目的事業 | | | | | | 法人会計 | 内部取引消去 |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-------|------------------------------|--------------------------------|
| 公4:評価・資格事業 | 公5:広報・啓発事業 | 公6:図書館事業 | 公益目的事業共通 | 公益目的事業合計 | | | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 100% 5,000 5,000 | 5,000 4,274,000 4,242,500 | 2133% | 64,000 3,000 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 107% | 1,977,000 1,841,000 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 102% 309,670,000 303,546,000 | 309,670,000 303,546,000 | 102% | 268,872,000 266,869,000 | |
| 101% 48,520,000 47,860,000 | 246% 577,000 235,000 | 98% 352,000 360,000 | 94% 498,507,000 529,236,000 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 100% 9,750,000 9,750,000 | 0 0 | 0 0 | 64,235,000 84,095,000 | 99% | 10,355,000 10,460,000 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 105,000 105,000 | 125% | 2,413,000 1,928,500 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 101% 48,520,000 47,860,000 | 103% 10,327,000 9,985,000 | 98% 352,000 360,000 | 102% 309,675,000 303,551,000 | 95% 876,791,000 921,224,500 | 101% | 283,681,000 281,101,500 | |
| 102% 106,319,000 104,661,000 | 112% 84,968,850 76,131,000 | 103% 46,804,000 45,572,000 | 0 0 | 95% 1,204,403,785 1,272,667,440 | 115% | 3,905,000 3,405,000 | |
| 103% 65,369,000 63,311,000 | 105% 44,358,800 42,437,000 | 102% 37,608,000 36,746,000 | 0 0 | 102% 442,286,800 435,244,000 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 103% | 266,493,500 259,348,000 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 102% 106,319,000 104,661,000 | 112% 84,968,850 76,131,000 | 103% 46,804,000 45,572,000 | 0 0 | 95% 1,204,403,785 1,272,667,440 | 103% | 270,398,500 262,753,000 | 0 0 |
| △ 57,799,000 △ 56,801,000 | △ 74,641,850 △ 66,146,000 | △ 46,452,000 △ 45,212,000 | 309,675,000 303,551,000 | △ 327,612,785 △ 351,442,940 | | 13,282,500 18,348,500 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 60,296,000 54,618,000 | 32,330,000 31,677,000 | 377,000 0 | 448,729,700 481,796,000 | | 101,986,000 102,218,000 | △ 550,715,700 △ 584,014,000 |
| 0 0 | △ 8,550,000 △ 8,550,000 | 0 0 | △ 228,672,000 △ 233,696,000 | △ 294,774,000 △ 288,115,000 | | △ 60,488,300 △ 56,738,000 | 355,262,300 344,853,000 |
| △ 57,799,000 △ 56,801,000 | △ 22,895,850 △ 20,078,000 | △ 14,122,000 △ 13,535,000 | 81,380,000 69,855,000 | △ 173,657,085 △ 157,761,940 | | 54,780,200 63,828,500 | |
| △ 316,856,080 △ 260,055,080 | △ 88,273,938 △ 54,027,275 | △ 50,425,435 △ 36,890,435 | 1,305,633,303 1,235,778,303 | 1,283,869,967 1,501,646,680 | | 882,008,480 818,179,980 | |
| △ 374,655,080 △ 316,856,080 | △ 111,169,788 △ 14,675,725 | △ 64,547,435 △ 50,425,435 | 1,387,013,303 1,305,633,303 | 1,110,212,882 1,343,884,740 | | 936,788,680 882,008,480 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 100% 3,800,000 3,800,000 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 97% △ 60,588,000 △ 62,171,000 | | 0 0 | |
| 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | △ 56,788,000 △ 58,371,000 | | 0 0 | |
| 0 0 | 14,309 14,309 | 0 0 | 0 0 | 231,025,668 289,396,668 | | 0 0 | |
| 0 0 | 14,309 14,309 | 0 0 | 0 0 | 174,237,668 231,025,668 | | 0 0 | |
| △ 374,655,080 △ 316,856,080 | △ 111,155,479 △ 14,661,416 | △ 64,547,435 △ 50,425,435 | 1,387,013,303 1,305,633,303 | 1,284,450,550 1,574,910,408 | | 936,788,680 882,008,480 | |

